



園部共同作業所だより

園部共同作業所発行

〒622 京都府船井郡園部町上木輪

No 25

32 0771(62)3249

親なき後

「親なき後」は、どの障害者にも、共通する切実な課題となっています。当作業所も現在両親と死別、自宅、アパートに単身生活して通所されている人が、四名おられます。このように、家族なき後、自力で生活する能力のある人はよいのですが、ない人はどうなるのか、病院に入院するしかないのか、特に病状が悪いわけでもないのに、生活の場があるのに親が亡くなると、入院しかないのではおかしい。

では誰が面倒を見てくれるのか、甥や姪には頼めない。兄弟自身も高齢化で、世話することが困難、兄弟が面倒見てくれると内心期待しているが、きちんと話し合いを持っていない。

そこでこの状況に対応して、いま、全国的にグループホームが増えています。これは、精神障害者が五、六名で生活する共同住居で、世話人を配置して日常生活を援助するものです。入所の期限もありません。精神障害者の人達が、気兼ねなく入居でき社会の中で安心して生活できる住居を建設するには、作業所、家族会、関係機関の連携、協力が不可欠です。

そして高齢者や知的障害者と異なり、精神の人は病状により能力が大きく変化するので、柔軟で流動性のある支援体制が要求されます。

船井郡でも、このような福祉施設をつくるため地域ネットワークの取り組みを進めて行かねばならないと思ふ今日この頃です。
杉山俊夫



超高齢化時代を迎えて思うこと

◎高齢化比率

町の全人口に占める、六五歳以上高齢人口の割合は三一%を越え、また、一人暮らし老人・高齢者の皆さんの世帯比率も二〇%を越えるという超高齢化社会を迎えております。また、高齢者の多くは、身体に障害をもっておられ、高齢者福祉と障害者福祉のつながりは、高齢化の進展に従って、一層強めて行かねばならない現実です。

◎地域全体で高齢者の生活を支える

いかに高齢期を健康に過ごすか、介護が必要となつた高齢者をいかに支えて行くか、といった課題は、町民の皆さん誰もが直面し、解決して行かなければならない課題であり、高齢化社会を明るく安心してくらし、高齢者だけでなく、すべての世代に共通する願いでもあると考えます。社会全体、地域全体で介護の必要な高齢者や介護家族を支える事が大切であると思ふます。

◎介護の基本は家庭

高齢者の多くの方は、介護が必要になつても、人々のふれあいを続けながら、できる限り住み慣れた地域や家庭において生活したいと考えられると思ふます。こうした願いにこたえるために、自宅で生活する老人や身体障害者に対する援助サービス等、各関係機関と連携を取りながら、在宅生活支援をより充実させていかねばならないと考えます。
和知町保健福祉課 春田

◎家庭での介護能力の低下

一方、世帯規模の縮小、女性の雇用機会の拡大、扶養義務の変化などによりまして、家庭での介護能力が低下してきておられるのも現実であると思ふます。

◎保健・福祉・医療の連携

介護に必要な高齢者や、介護家族を支える関係者の連携が大切なことであると考えます。

家庭での介護能力の低下、女性の雇用機会の拡大、扶養義務の変化などによりまして、家庭での介護能力が低下してきておられるのも現実であると思ふます。高齢化の一層の進展に伴い、日常生活を自立して営むことが困難な、要介護の高齢者が増加して行くことから、今後、こうした高齢者や、実際に介護に当たる家族が安心して生活できる条件を整

必要とされる保健福祉サービス量の拡大を図っていかねばならないことにはもちろんですが、それだけでは十分ではありません。せっかくの保健福祉サービスも、利用者による存在を知られず、十分に利用されなければ意味がありません。利用者の立場に立った、また、利用者中心のサービス提供ができる連携と体制づくりが大切であります。

寄贈品(四月一日〜九月三〇日)氏名

明田履物店	モード履き
城島幹夫	菓子、缶詰、スイーツ
園部保健所	図書券(実習謝礼)
中川裕子	コーヒ、セット
小西実	カセットテープ
井上六平	(京都茶壺道中保存会) 新茶
マルナカ	おにぎり
長岡	菓子、缶コーヒ
小西和江	ジュース
藤田みさを	ジュース
和知町社協	コーヒーセント
永井光明	あられ
田中昌吾	シューズ
城山共同作業所	菓子

作業紹介

1 積み込みについて
 ぼくは、作業所に来てから、積み込みの仕事をするNさんに教えてもらいました。積み込みの仕事は、納品の品物を車に入れることです。
 納品の品物によって、大きさが違い、苦勞します。例えば、いずみやさんの品物はたてにしたり横にしたりして、すこしでも多く積み込めるように、また少ない時は、運転中観音峠で、こぼれたり、落ちないように低く積み込みして考えながら積み込みをするので、頭の体操にもなり、体力もつきます。
 でも、いやな時は、しんどい時や暑い時、カキド忠が重たい時です。けれど、最近は一さんも教えてもらって出来るようになりました。そして、みんなもよく援助してもらっています。これが、みんなも出来るようになるよと思えます。
 そして、僕が、いつも思っていることは、積み込みの時にリレー式はいけれど、後何回と言わなくても見当がつかないのかというように言っていることです。
 でも、最近考えたことは、最初に数を知っておくことです。

TK

作業紹介

1 積み込み
 積み込みとは、作業で出来た品物を業者へ納品するために、ワゴン車に積み込みをすることです。現在は数人の人が出来ませんが、納品物により大きさを、数量が違い、車の中にいかに納めるか、とても難しいのです。
 積み込みによって、少なかったり、走行中に降ったり、こぼれ落ちたり、こぼれ落ちないように工夫しなければなりません。積み込みをする時は、作業所の廊下から三、四人でリレー式で運び、車の荷台に乗る人が一名で、考えながら置かなければなりません。
 きれいに納まったときの顔は、満足そうな表情が見られます。

龍野さち子



海水浴

今年も待ちに待った海水浴の日がやってきました。七月二十九日(月)全員で二名が保健所に集合して、午前九時頃由良海岸へマイクロスパスで行きました。天気は晴れ、海水浴には絶好の日和でした。
 だけでも僕は、由良海岸へ五回も行くことになり、なんだか不吉な予感がしました。午前十一時頃、由良海岸に着きました。そして、食事前の一時間、みんなで泳ぐことになりました。
 みんな浮き輪なしで泳いでいたのですが、僕は浮き輪なしでは泳げません。かなづちでしたから先生が持参してくれた浮き輪に乗りました。浮き輪が長四角でおぼれかかってしまい、何度か立ち上がろうとしましたが、立ち上がれませんでした。波に流されているところへ、それを見ていた杉山先生は、僕の足を引っかけてようとしたが、なかなか波が高く足に引っかかりませんでした。
 顔が真っ青になって、杉山先生の助けをかりました。海水は飲むし、波は晴れているのに高かったです。浮き輪にしがみつきましたが、まだ立ち上がれません。先生の懸命の努力でようやく立ち上がることが出来ました。

大阪城へ花見

四月二日花見に行きました。書いてある今はもう一〇月始めだから、それからかなり時間が経っていて、忘れたことも多い覚えです。
 灰色のビル街に大阪城があった。(大阪城)公園が広いので、そこだけ大阪じゃなく、京都で言えば御所のような感じだろうか。ちょっと散ってはいいたものの、桜は見頃で私達のころをなごませてくれた。
 弁当を食べる場所を確保するため城の石段を登るがかなりきつい坂。小豆島から運ばれたという石の大きさに驚く。弁当が幕の内一色になったので助かった(ハンバーグ弁当はよろしくない)。花と弁当はよかったのだが寒くて風が強く吹き飛ばされそうになったり、これには難儀した。(園部では雪が降っていたほどの日だった。)
 来年の花見は寒風のない穏やかな日でありますように。

FK

行事

平成八年四月一二日
 園部保健所と合同花見
 大阪城公園
 朝は季節はずれの積雪であったが、大阪は風こそ冷たいが良い天気であった。
 四月二十九日
 天王山ハイキング
 参加者は少なかったが、休憩を取りながら山頂につく。

行事

五月一九日
 障害者スポーツフェスティバル
 丹波自然公園において
 五月二十八日
 保津川グランドにおいて
 保津川クイズ大会

行事

五月二十九日
 フットボールの試合を見事に勝ちました。
 茶飲み
 日吉町八栄において
 五月二十九日
 海水浴由良海岸
 予定より早く着き、たっぷり海に入り楽しい一日を過ごせた。

年末ボーナス支給のための支援のお願い
 手作りクッキー購入のお願い

今年は手作りクッキーを販売することと致しました。

— 苺(バナナ、ココア、くるみの三種類の詰め合わせ)

代金1000円です

編集後記
 食中毒の「〇一五七」が全国的に猛威を振るい、その影響で夏の調理実習は自粛。一皆ガックリ。でも衛生観念のアップと手洗いの徹底にはよい影響を与えてくれたと思います。
 さあ、秋風も吹いて食欲の季節、Hさんの体重が増えるのは気になります。が、調理実習再開です。

